

【広報】 鮫川村広報紙 さめがわ

8

2005 No. 616
平成17年8月1日発行

特集

資源を活かして元気なむらに



■行政情報

新しい農業委員が決まりました ほか

■ほっとニュース

第60回健康づくり夏季球技大会
村防犯協会が防犯ブザーを贈呈 ほか

【表紙写真】
プールで元気に遊ぶ子どもたち(7月27日)

特集 資源を活かして元気なむらに



小林秋男さん夫妻（赤坂東野字葉貴）も豆で達者な村づくりに参加しています。昨年は大豆とじゅうねんを作ったものの、天候の影響で大豆はだめになってしまったとか。「じゅうねんは商工会に買ってよかったよ。」と振り返る秋男さん。「今年もじゅうねんをいっぱいとってみたいね。」と二人はにこやかに話してくれました。（秋男さんのじゅうねん畑にて）

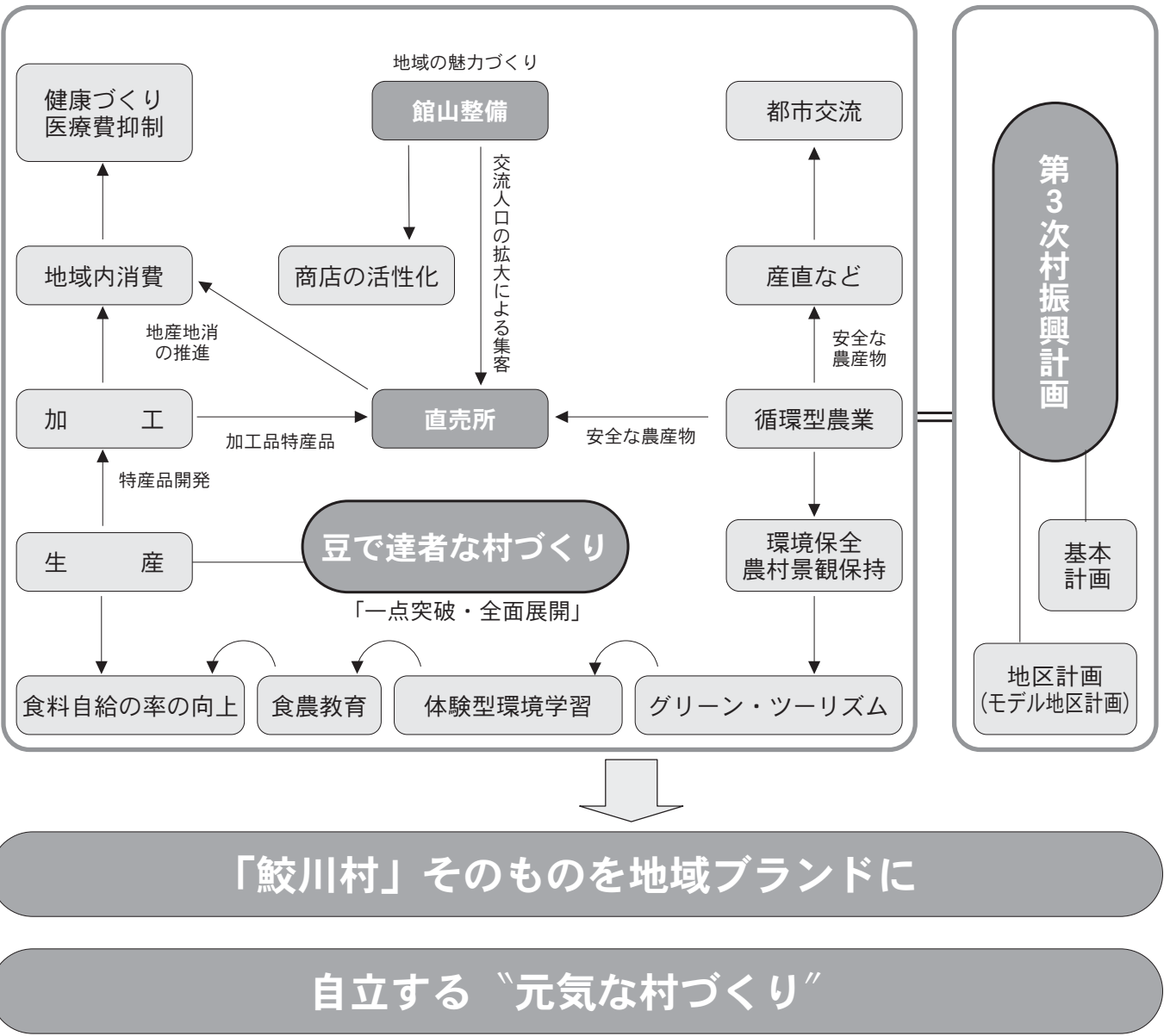
地域の資源を活かして 元気な村づくり

平成十五年七月に自立の道を選択してから二年が過ぎ、村ではこれまで行ってきた事務事業の見直しや、行財政改革などに着手し、効率的な行政の運営に努めてきました。昨年からは農業の振興や特産品開発、健康づくりなどを柱とした「豆で達者な村づくり」がはじまり、二年目を迎えた今年には直売所の設置など新たな展開を迎えています。

一方で、村の今後十年間の基本的な方向を定める「第三次鮫川村振興計画」策定のため、住民や村職員、村議会議員などで構成する四つの策定委員会を設置。昨年九月から検討を重ね、今年の三月には基本構想が議決されています。また、村の人口が減り続ける中、商店や中心市街地の活性化につなげ、賑わいを取り戻そうと「館山」周辺の整備に向けての準備も始まっています。

今月は、自立に向けた村の動きを紹介します。

■村づくり体系図



生産から加工・販売までを一体的に

● 豆で達者な村づくり

昨年収穫した大豆は「きな粉」「味噌」「豆腐」に

昨年栽培した大豆は、収穫時期の長雨の影響で「紫斑病」に侵されてしまった豆や、品質が落ちてしまう豆が数多くありましたが、次年度生産の意欲につなげようと、生産奨励金（一袋「二五キ」あたり三千円）を交付して七・六トを買い上げました（二二八万三千円）。その豆の中から良質の豆を選別し、はじめに製品化したのが「きな粉」です。「きな粉」は、従来のもの比べて香りがよく、お湯に溶かし

て飲めるように細かい粉にしたのが特徴です。二五〇gと三〇〇gを用意し、これまでに一〇一万円を売り上げています。

また、鯉川小学校隣の旧給食センターを改修した特産品加工施設（加工所）では、「味噌」の仕込みを試験的に始めています。加工所は、古くあった天井や床などを修繕し、味噌加工のための製麹機（麹を作る機械）や蒸煮缶（大豆や米を蒸す機械）が設置され、これまでに約一・七トの味噌が仕込まれています。「豆腐」は、今年十月にオーブン予定の直売所内に、豆腐

加工のための器具などを配置し、製造される予定となっています。

じゅうねん（エゴマ）はタレと油に加工

昨年栽培されたじゅうねん（エゴマ）は、商工会が買い上げ「じゅうねん油」の原料として利用しています。「じゅうねん油」は、村特産品開発事業組合（関根政雄組合長）が中心となり「じゅうねん油タレ」に続き商品化したもので、旧富田小学校に設置した搾油機で製造しています。



7月21日に行われた栽培者研修会から

今年は142人が豆づくりに参加

農作業を通じてお年寄りの「生きがい・健康づくり」と、収穫した大豆・じゅうねんを食べる「長寿」を目指そうと始まっ

ねん畑が広がっています。収穫されたじゅうねんは、今年も村商工会が買い受け、タレや油に加工される予定です。

豆づくりを生きがいに
七月二十一日と二十五日

みんなで楽しく作っているよ

大豆・じゅうねん栽培者研修会に参加したみなさん

「昨年とはまた違った天候だけど、大豆は今のところ順調に育っているよ。」

「去年から村をあげて大豆とじゅうねんづくりをしています。自分ひとりで作るのでは、張り合いが全然違うねえ。」

「そうだねえ、みんなで作って話の種にもなるしね。」

「去年の収穫のとき、最初は手でやることになってたけど、村が買った機械であつという間に作業が終わったから、これならいくらでも豆を作れると思ったよ。とても助かったね。」

「みんなで作ると張り合いも違うし、こういった研修会にも参加できるから、豆づくりはとても楽しいよ。」



左から森芳子さん（榎久保）、芳賀貞子さん（江竜田）、森田タツさん（青生野）、山形孝子さん（中山）、木之内フクさん（下）、芳賀タケさん（中山）、芳賀美生子さん（江竜田）

には、大豆・じゅうねん栽培者を対象に「さざり荘」で大豆・じゅうねん栽培者研修会を開催しました。

研修会では、大楽村長が「豆で達者な村づくり二年目の挑戦」と題し、今年度の村づくりの内容などを説明しました。続いて、福島県南農林事務所農業普及部の五十嵐副主査が大豆とじゅうねんの栽培技術を指導。昨年の経験を踏まえた作物の管理方法などをアドバイスしました。また、村民福祉課村山通子保健師が、日ごろの農作業の疲れをとるための体操やレクリエーションを行い、参加者たちは、楽しみながら体を動かしていました。

旧幼稚園を直売所に

豆で達者な村づくりで開発した特産品（きな粉や味噌、豆腐など）は、地域でとれた新鮮な農産物（野菜、果樹、花き、山菜など）や工芸品などと一緒、現在、旧幼稚園舎に整備を進めている直売所で販売することになります。

（6ページにつづく）

村の中心の活性化と みんなの「憩いの場」を

● 館山公園整備事業



館山公園整備構想説明会
(7月14日)



また、館山公園が位置している土



館山公園頂上部

活気が失われつつある 村の中心部

村の中心市街地である「新宿・道少田地域」は、年々活気が失われ、このままでいくと空き家の増加や、商店が減少してしまうなど深刻な状況にあります。

一方、村の中心部に位置する館山公園は、平成二年に人と森林のふれあいの場「緑地

休養施設」として整備されていますが、樹木の成長などにより、その魅力を十分に生かしていきかねているのが現状です。また、昨年七月に実施した第三次村振興計画策定のための行政区懇談会では、館山公園整備についての要望が数多く出され、館山を生かして村中心部の活性化に一役買ってもらいたいとの期待が寄せられています。

館山公園の整備を 村づくりの「シンボル」に

そのような状況から、村では、「館山」を村民が希望を持って住み続けられるための「希望のシンボル」として位置づけ、村民が愛着を持ち村外からもたくさんの方が訪れるような魅力ある公園に整備することとしました。

約一五〇〇坪の面積がある館山は村の中心部に位置するため、遊歩道などを整備することにより公共施設や商店街との連携がとりやすくなっています。また、里山づくりや農作業の支援など、都市住民との交流の場を設けた公園の整備をすすめることで、村の美しい環境の保全や移住の機会を増やすことにつながることが期待されます。



直売所に改築予定の旧幼稚園舎

誰でも気軽に寄れる施設に

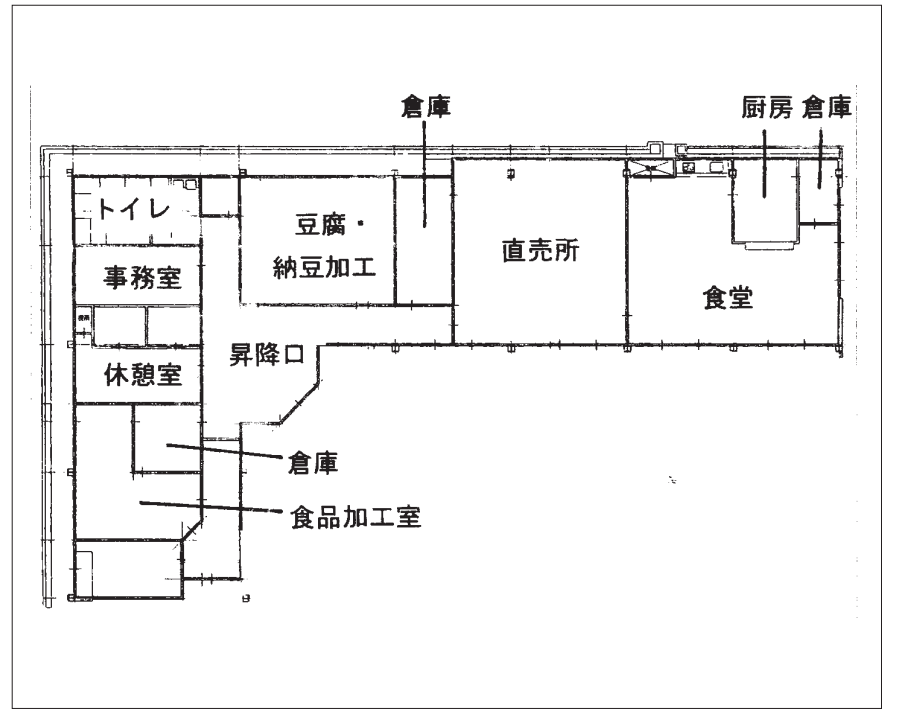
生産者部会工芸品部会
代表 緑川末治さん

直売所は誰でも気軽に寄れるような施設になればいいね。並べられる品は、鮫川に来なくては買えないようなものを揃えて、よその直売所に負けないような特色のある直売所にする必要があると思うよ。

軌道に乗るまでが大変だけど、工芸品や野菜に限らずどんなものでも誠心誠意で作ったものを置いて、計画的な運営をすればいいと思うよ。学校の給食にも鮫川産の野菜をどんどん使ってもらいたいね。



■直売所平面図（計画案）



加工施設・食堂を併せて整備

直売所には農産物などを販売する直売スペースのほか、豆腐や納豆を加工・製造するスペース、食堂などを併せて設置します。直売所で扱う農産物については、地産地消を推進するために、学校給食センターやほっとはうす・さめがわ、こどもセンターなどの施設で積極的に使用していく予定です。

運営方法は 準備委員会で検討

これまで直売所に出荷を希望している農家代表の会（直売所世話人会）や村振興公社準備室などで運営方法などについて検討を重ね、運営組織

の母体として運営協議会準備委員会が設立されました。

準備委員は、生産者各部会（農産物部会・加工部会・工芸品部会）代表と、JA東西しらかわ鮫川支店、村商工会、たんぼほの家で構成され、十月のオープンに向けて、運営方法や規程などを協議しています。

さらに、平成十八年度には運営体制を振興公社へ移行するため、設立準備もあわせて行われています。

試験販売会を実施

今年十二月には、直売所運営の参考にするため、これまでに営業許可を取得した加工品や農産物を試験的に販売する予定です。

これからの 村づくりの方向は

● 第3次鮫川村振興計画

今後10年間の村の将来像を描く「振興計画」

村では、第三次村振興計画（平成十七年度～二十六年）の基本計画を策定中です。計画の策定にあたっては、昨年七月に行った各行政区懇談会で出された提言をもとに、住民と行政の協働と住民参画を重視し、四つの計画策定委員会（地域資源活用委員会、農村景観活用委員会、生活安心委員会、人づくり地域産業委員会）を設置しました。

委員会では、基本構想（今後十年間、村が推進すべき基本的な方向、村づくりの基本方針を示すもの）と基本計画（基本構想の実現のために必要な施策の方向を体系的に示すもの）を昨年九月から協議し、今年の三月には、基本構想が村議会臨時会で可決されています。現在は、より具体的な基本計画の審議が進められており、委員会ごとにまとめられる予定となっています。

地域が元気になれば
村全体の活性化に



約1年間、振興計画基本構想・計画策定のために参加した住民委員の皆さんに感想を聞きました。

- ・藤田セツ子さん（関口）
思っていた以上に難問が多かったと思います。地域の集まりなどで若い人と会うと、意見や考えを聞くようになっていたので、この委員会でもっと若い人がいればよかったと思います。
- ・本郷美智子さん（落合）
普段考えないような深い部分まで考えないといけないので大変でした。形にするためにはいろいろな話を出すこと、自分の意見をきちんと言うことが大切だと思いました。こういうのに参加しなければ、村の将来も考えなかったと思います。
- ・矢吹弘さん（仁田）
参加してみて面白かったです。もう少し若い世代の声もあればよかったのではないのでしょうか。自分たちの代と20代では、10年後20年後の考えも違ったと思います。
- ・青戸広行さん（彦次郎）
1年間参加してみてようやく議論できるだけの知識が身につきました。やってよかったです。
- ・須藤かつ子さん（滝）
村のことであまり知らないこともありましたが、参加してみて自分にとってよかったと思います。とても勉強になりました。
- ・須藤重晴さん（遠ヶ竜）
村のことをいろいろ知ることができ、大変勉強になりました。

今回の振興計画にあたり、もう一つの柱として地区計画の策定も同時に進められています。

地区計画は、地域の特性を活かした、集落や地域を単位とするモデル地区計画で、住民自らが地域づくりを進めるための目標を定めます。そのことにより集落が元気になり村の自立と活性化につながることを期待されます。昨年八月にモデル地区を募集したところ、これまでに十の地区（集落）から応募があり、地域の魅力を活かすアイデアが寄せられています。

七月下旬からは、応募のあった各地区に村職員三名で構成するサポートチームを派遣し、集落の現状や課題、構想などを話し合い、地区計画の策定を支援する取り組みも始まっています。今後モデル地区については随時募集し、振興計画の地区計画に追加していく予定です。



子どもたちの未来のために



各モデル地区で始まった計画づくり（集落に空き家をつくらないためにはどうしたらいいかなどの意見が出されました／中沢地区）

これまでに申し込みのあった モデル地区計画の主な内容

- ①彦次郎元気づくりモデル地区（青戸孝夫さんほか八名）
集落のシンボル菅生館周辺に花木類を植栽し、景観を整備する。休耕地を活用して大豆・じゅうねんの栽培を拡大する。
- ②中沢元気づくりモデル地区（田谷次男さんほか一六名）
古くから伝わる数多くの祭典を継承した地域づくり。また、綿羊（山羊）などの飼育により中山間地域の環境を整備し、荒地を減らす。
- ③岩野草元気づくりモデル地区（坂本忠雄さんほか一六名）
直売所や薪を使った風呂などを集落に整備する。
- ④鬼越辺栗元気づくりモデル地区（生田目一広さんほか七名）
集落全体を花・桜の公園にし、県南の桃源郷づくりを目指す。直売所も整備する。
- ⑤落合元気づくりモデル地区（本郷公市さんほか三名）
- ⑥渡瀬元気づくりモデル地区（大森茂さんほか三名）
微生物利用有機無農薬の米や野菜を生産し、集落で民宿やレストランなどを経営する。
- ⑦荻ノ沢塩倉元気づくりモデル地区（関根成男さんほか九名）
桜と柿の里づくりを展開。柿の木里親制度の導入や出荷につなげる。
- ⑧真坂元気づくりモデル地区（緑川好之さんほか二〇名）
真坂農村公園を核とした里づくり。
- ⑨石井草元気づくりモデル地区（予定）
一等三角点を活用した集落づくり。
- ⑩大犬平元気づくりモデル地区（予定）
森林を活用した体験学習の森をつくる。

特色ある村づくりのためには

村づくり事業に取り組むために大切なものとは何か。村振興計画策定のアドバイザーを務める福島大学行政社会学部 兼田教授に村づくりについてのお話を聞きました。

ゆとりある暮らしを大切に

「まずは、現在の社会情勢や時代の流れの基本認識についてお聞かせください。」

「スローライフ」という言葉があるように、大量生産・大量消費・大量廃棄によるものの豊かさを追求する暮らし方ではなく、ちよつと不便でも環境資源、食料などを考え、ゆとりある暮らしを大切にすることが時代の流れだと思います。

キーワードは発想の転換

「そういった部分を踏まえ、地域づくりの現状や課題、あるいは地域づくりをやっていくなかで大切なことなどについてお聞かせください。」

まず、戦後の日本が進めてきた農林漁業の方法では、もう日本の農業は数年先まで持たないという危機感を持つべきだと思います。その危機感ももちろん農林漁業の生産者も感じています。打開の方法についてはほとんど見通しを持っていないという風に思います。このままたと生産者も食べて

いけなくなり、やめざる得なくなつて、上向きにならずにいつてしまつたらうとこらえている層がどんどん増えていると思います。

その流れに対抗するやり方は三つあつて、一つはなんとか今のやり方のままで、政策的な時代の流れに抵抗しながら現状を維持するやり方ですが、決して間違ひではないと思います。

二つ目は、発想の転換をした農林漁業や農山村のあり方です。太筋で言うと少子高齢化や過疎化は特徴ある地域づくりのチャンスとこらえ、多くの人に共感される魅力ある地域づくりで交流を増やすこと、村にあるものを生かし地域の経済を元気にすることです。今の農林漁業の状況になつたのは、農政の進め方が悪かつたのであつて、それに従つてやつてきた人たちが「大変」とばかり言つてますね。熱塩加納村で集会をやつたときは、直売所と学校給食の問題で話し合つたのですが、議論になると、だいたい男性は、女性がやつている直売所に「儲かるはずがない」と批判するけど、ほかには何もアイデアが出てこないという状況でした。

また、秋田県で一番売り上げがある直売所をさえ、それだけで農家がやつていける額ではないし、儲かるか儲からないかという発想で議論しても発想の転換ができていないんです。しかし、実際は直売所が注目され、ブームになつてきている。これは、消費者の後押しがあるということなんです。

相手に喜んでもらうために「まごころ」で

発想の転換の原点・出発点は、実はすごく素朴なことで「もつたいない」ということなんです。例えば曲がつきまじりでも

真つ直ぐではないから出荷できず捨てなくてはいけない。しかし、そういうものも役に立つ「資源になるはず」で、本当は喜ばれるものなんです。

大切なことは喜んでもらうことです。よく自由化に対抗する言葉で「付加価値」という言い回しをつかっていますが、安全なものを作れば都市の消費者は喜んで喜んでくれるんです。これまでは、儲けて暮らしを成り立たせることが当然のことでしたが、それだけでは行き詰つてきたわけなんです。しかし「付加価値」をつけ、喜ばれるための方法を従来のやり方たつつかめない。

熱塩加納の有機野菜は「まごころ野菜」として学校給食に安心・安全な野菜を提供していますが、付加価値のどのつまりは相手に喜ばれる「まごころ」なんです。そのまごころを持つて作れば消費者には伝わるんです。

女性や若者を生かすことが重要です

また、発想の転換をするためには、新しい担い手が必要です。女性や何かやつてみたいと思つている若い世代の力を借りることが大切です。

福島では残念ながらあまり事例がないと思いますが、星空

で売り出している岡山県のある町では、五十代から三十代のいわゆる後継者の人が直売所を始めたんですね。彼らは、まだ後継者だつたんですが、地域を仕切っている自分たちの上の世代からいろいろな経過もあり「やつてみる」とまかされて直売所をやることになつたわけ、いざやつてみると中国地方最大の売り上げを出すようになったんですね。行政の後押しなんかもあつたみたいですが、加工所をつくつたりと事業が膨らんでいった例もあります。

業の後継者に嫁が来ないと子どもたちが出て行つて過疎になるとかという話にもなつたんですね。でも、嘆いている割にはどんどん高校から都会の大学に進学させたりしているんですね。これはちよつと古い考えではないですかね。

発想の転換をするには嘆いてばかりいないで、若い世代や女性の考えの芽を摘むことをせず、儲からないからやめろではなく、まあやつてみる」と任せてみるのが大切ではないでしょうか。

三つ目は、地域を見直すことです。可能性のあるどんな小さな芽もつぶさないことが大切なんです。鮫川村の振興計画は、そのようなところから始まっています。

自主的な地域づくりの雰囲気

鮫川村にはあります

余談ですが、合併問題で自立を選択した市町村でも、単独を選ばざるを得なかつた市町村など温度差がある中で、鮫川村は住民投票で住民が自立を選択している

地域づくりは発想を展開し、地域を見直していくことが大切

ので、私たちから見れば「地域づくりは自分たちで」という考えが段違ひにあるんです。行政だけじゃなく自分でできることは自分でという雰囲気や振興計画で伸ばしていくということが大切だと思います。鮫川村は地図を見ればわかることですが、集落が分散している、その集落ごとに長い歴史があるんです。だから、振興計画を作るうえでも、行政がくつた区域で考えてもただの作文にしかならないんです。そこで集落ごとに計画を作ることが必要になってきます。鬼越でも萩ノ沢でも、中沢でも、いろんなところから出てきたアイデアを他の集落も盗みながら、みんなができることを地区計画に盛り込むことが大切ですね。この方法は、「鮫川方式」といってもいいようなアイデアだと思えます。

地域づくりには、どんな小さいことでもいいので、みんなのできることを探し出すこと、都市と農村の連携を大切にしていけることが大事ですね。

お忙しい中ありがとうございます。七月二十八日・役場会議室で



福島大学行政社会学部 兼田繁 教授

●かねた・しげる
1948年生まれ。立命館大学大学院社会学研究科博士課程満期退学。社会学修士。福島大学経済学部助教授、福島大学行政社会学部助教授を経て1993年より現職。専門分野は地域社会学。

▶児童扶養手当

児童扶養手当は、父と生計を同じくしていない児童が育てられている家庭の生活の安定と自立を助けるために、児童の母や母に代わってその児童を養育している人に支給されます。父と生計を同じくしていても、父の心身に一定の障害がある場合には支給されます。

■**受給資格** 次のいずれかに該当する18歳未満（心身に一定の障害があるときは20歳未満）の児童を監護している母または母に代わってその児童を養育している人。
 ①父母が離婚した後、父と生計を同じくしていない児童 ②父が死亡した児童 ③父が一定の障害の状態にある児童 ④父の生死が明らかでない児童 ⑤父が引き続き1年以上遺棄している児童 ⑥父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童 ⑦母が婚姻によらないで生まれた児童 ⑧孤児などで、父母がいるのか不明の児童

■手当の額

区分	全部支給	一部支給
児童1人のとき	月額41,880円	所得に応じて月額9,880円から41,870円までの10円きざみの額
児童2人のとき	児童が1人のときの額に5,000円を加算	
児童3人以上のとき	3人目から児童1人増すごとに3,000円を加算	

■**支給制限** 受給者と同居親族の所得により全額または一部が支給停止されます。

▶特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、身体または精神に障害がある児童を監護または養育している人に支給されます。

■**受給資格** 身体や精神に障害がある20歳未満の児童を監護している父もしくは母、または父母に代わって児童を養育している人に支給されます。ただし、児童が肢体不自由児施設や知的障害児施設などに入所している場合や、障害を理由として厚生年金などの公的年金を受けることができる場合は支給されません。

■手当の額

1級該当児童1人につき	月額50,900円
2級該当児童1人につき	月額33,900円

■**支給制限** 受給者と同居親族の所得により手当の支給が停止されます。

◎問い合わせ

村住民福祉課福祉係 ☎49-3113



阿久津 茂 (54歳)
 ①西山字折戸/②選挙/③折戸・西野内・宝木・押野・岩野草



佐川 一郎 (58歳)
 ①赤坂東野字内ケ竜/②選挙/③唐露・大石草・遠ケ竜・大根屋敷・中内・大房・櫛久保・内ケ竜・官代・石井草



芳賀 元治 (60歳)
 ①渡瀬字江竜田/②選挙/③江竜田・大戸中・下・木之根・中野町・上耕地



須藤 一 (54歳)
 ①赤坂西野字名下/②選挙/③酒垂・名下・茅・本坂・火打石・石神・切払・草牛・藤平



我妻 佐利 (58歳)
 ①西山字落合/②選任(農協)/③戸倉・赤柴・菅田・菅ノ目・水口・落合・大久保



市川甲子男 (64歳)
 ①赤坂東野字滝ノ下/②選任(議会)/③広畑・芦ノ草・滝ノ下・藤ノ草・木戸沢・大竹・戸草・葉貴・前田

■会長職務代理者



芳賀 登 (55歳)
 ①渡瀬字田苗下/②選挙/③中山・福原・田苗下・田尻・関口・越虫



白石 政敏 (60歳)
 ①渡瀬字青生野/②選挙/③羽双・大犬平・江堀・青生野



阿久津栄二 (57歳)
 ①赤坂西野字滑石/②選挙/③仁田・滑石・上・中・西・浅屋敷・前折戸・塩倉・荻ノ沢・岫長・虹ヶ沢・滝

■会長



矢吹 勝美 (56歳)
 ①富田字中沢/②選挙/③富田全域



長井 太一 (58歳)
 ①渡瀬字青生野/②選任(土地改良区)/③丸谷地・西谷地・世々麦・姿平



関根 功男 (66歳)
 ①西山字余所内/②選任(共済組合)/③大沢・余所内・大平・追木

任期満了に伴う鮫川村農業委員一般選挙は、七月五日に告示され、定数九人に対し立候補者九人のため無投票となりました。また、選挙による九人のほかに、議会推薦一人、農業協同組合推薦一人、農業共済組合推薦一人、土地改良区推薦一人がそれぞれ選出され、村長から選任辞令が交付されました。任期は平成二十年七月九日までの三年間です。

改選後の初総会は七月二十二日、役場議場で開かれ、会長に矢吹勝美さん、会長職務代理者に芳賀登さんが選任されました。新しい委員の皆さんを紹介します。(敬称略)
 (①住所/②選出区分/③担当区域)
 ■問い合わせ 村農業委員会 事務局 ☎49-31197



鈴木 寛重 (61歳)
 ①西山字馬場/②選挙/③赤坂中野全域

1 新しい農業委員が決まりました

農業委員会は、村の執行機関として設置されている行政委員会、農業者によって選ばれた方々を中心に構成し、運営される組織です。農業委員会は「農業者の代表」として、活力ある村づくりのために幅広い活動を展開します。

▼農業委員の役割

- ①農地と農家の実情・意向の把握
 担当した地域の農地の利用・権利関係の現状や農家の実情を把握し、農地に関連する許認可業務(審査)と認定農業者の支援を行います。
- ②農家相談
 農家の世話役として農業委員会での解決が困難な問題の場合は村やJA、県などの橋渡し役となります。
- ③農地の監視
 農地パトロールなどにより不適正な農地の権利取得や産業廃棄物の不法投棄、無断転用などに対する監視活動を行います。
- ④農地の利用・権利関係の調整・あっせん
 農地を売りたい・貸したい農家と買いたい・借りたい農家との間に調整・あっせんします。
- ⑤担い手への農地集積と経営改善支援
 地域農業の担い手育成に向け、認定農業者などの意向を汲み取り、経営改善の取り組みを手伝います。
- ⑥地域農業の方向づけとエンゲージ
 将来の地域農業のあり方やビジョンについて、地域で話し合い、合意づくりをすすめます。
- ⑦農政の普及・浸透
 農政の進む方向や国や県、村などの新しい施策、農業者にメリットのある事業などを農業者・地域に伝え普及・浸透させます。
- ⑧農業者・地域に根ざした農政活動
 農業者や地域が直面している問題・課題を把握し、農政に反映させます。
- ⑨食農教育の推進
 農業者や消費者などとの架け橋となり地産地消をすすめたり、教育委員会と連携し、地元農畜産物の学校給食での活用をすすめます。
- ⑩情報の提供
 農業・農政に関する正しい情報を農業者に提供し、農業者の意見・世論を作り出していきます。

●●●●●
婦人検診のお知らせ

子宮がん・骨粗しょう症
検診を実施します。

- 日時 8月18日(木)
- 受付時間 [午前] 8時30分～9時
[午後] 1時～1時30分
- 検診会場 村保健センター
- 対象者 20歳以上の女性で村内に住所がある方(昭和61年3月31日までに生まれた方)

■受診料

年齢	子宮がん	骨粗しょう症
20～69歳	500円	500円
70歳以上	無料	無料

- ※1 6月に実施しました「住民健康診査受診希望調べ」で村の検診を希望した方に受診録(カルテ)を配布します。
- ※2 「希望調べ」で、希望されなかった方でも、村に住所があり20歳以上であれば今回の検診を受診できますので、8月17日(水)までに住民福祉課健康係までご連絡ください。
- ※3 施設検診(病院での個別検診)はありませんので希望される方は忘れないで受診してください。
- ※4 検診当日は混雑が予想されますので、案内した駐車場に車を止めるようにお願いします。

[表2] 住民総合健康診査日程

月	日	実施地域	会場
8月	31日(水)	青生野区/赤坂東野・石井草区のうち葉貫	ほっとはうす・さめがわ体験館
9月	1日(木)	渡瀬区(越虫を含む)	渡瀬区集落センター
	2日(金)	富田区	保健センター
	5日(月)	赤坂中野区のうち新宿・道少田/赤坂東野・石井草区のうち広畑	
	6日(火)	赤坂中野区(新宿・道少田を除く)/赤坂東野・石井草区のうち石井草・官代	
	7日(水)	赤坂東野・石井草区(広畑・石井草・官代・葉貫を除く)	
	8日(木)	西山区	
	9日(金)	赤坂西野区	赤坂西野区民センター

※口腔健診は9月2日(金)、5日(月)、7日(水)の3日間実施します。
※健診送迎バスを運行しますので、詳しくは後日お送りするお知らせ「健診送迎バス時間」をご覧ください。



「不調のサイン」を読み取り、いつまでも健康で過ごしましょう。
■内容 「表1」のとおり
■日程・会場 「表2」のとおり(受付時間は、午前七時三十分～九時三十分)
※指定会場以外でも受診できます。

[表1] 住民総合健康診査内容

健診名	内容	対象	料金
結核検診	胸部X線撮影	65歳以上の方	無料
肺がん検診(肺野部)	胸部X線撮影	40～64歳の方	500円
基本健康診査	身体計測、血圧測定、尿検査、聴打診、血液検査、眼底検査、心電図検査、医師診察	40歳以上の方	500円(70歳以上の方および65歳以上で一定の障害がある方は無料)
胃がん検診	胃部X線撮影		500円(国保加入者70歳以上の方および65歳以上で一定の障害がある方は無料)
大腸がん検診	便採取	40, 45, 50, 55, 60, 65, 70歳の方	500円(70歳以上の方および65歳以上で一定の障害がある方は無料)
C型肝炎ウイルス検診	血液検査 C型肝炎ウイルスに感染していないかを検査します。		500円
口腔健診	口腔パノラマレントゲン撮影、歯科衛生指導	40～70歳の方	500円
前立腺がん検診	血液検査	50歳以上(男性)	

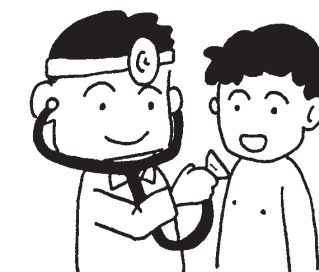
※大腸がん検診は、精密に検査するために2日分便を採取してください。受診しない方は、健診期間中に採便容器を健診会場か役場に戻してください。

八月三十一日(水)から九月九日(金)まで、住民総合健康診査(生活習慣病健診)を行います。最寄りの会場を受診してください。
健診の受診録は、六月に実施した健康管理世帯調査(健診希望調べ)で受診を希望し

た方に配布します。受診を希望しなかった方でも、受診対象年齢であれば受けることができますので、事前に役場住民福祉課健康係までご連絡ください。
健診で体の総チェックをして、自分では気づきにくい

8月31日～9月9日は
住民総合健康診査です。

健診で 身体の総チェック



■問い合わせ 村住民福祉課健康係 ☎49-3113

1 NEWS

努力でつかんだ出場権
舟木君が自転車競技でインターハイ出場



インターハイに出場する舟木君（中央）

インターハイ出場を決めた舟木君（東白川農商高等学校三年・赤坂西野字石ノ花）の激励金交付式は七月二十七日、役場村長室で行われ大楽村長、奥貴教育長らから激励を受けました。舟木君は、六月十七日から十九日に秋田県美郷町で行われた東北大会自転車競技二十四キロで見事四位に入賞し出場権を獲得。八月二日から千葉県松戸市で行われるインターハイへ出場し、上位入賞を目指します。

3 NEWS

過疎地域に大切なものは？
ほっとはうすで過疎対策北海道・東北ブロック会議を開催



過疎対策について協議した北海道・東北ブロック課長等会議

平成十七年度北海道・東北ブロック過疎対策担当課長等会議は七月七日・八日の二日間「ほっとはうす・さめがわ」で行われ、北海道・東北地区の各道県過疎対策担当者など約二十名が参加しました。七日の会議では、国が行う過疎対策などについて説明がされたあと、過疎対策の事例や意見交換が行われました。翌日には環境学習館などを視察し、村の施策について理解を深めました。

5 NEWS

地域の温もりに触れた二日間
第2回さめがわ・ふるさと体験学校



田押し車で除草にチャレンジする参加者

NPO法人ふるさと回帰支援センターが主催する「第2回さめがわ・ふるさと体験学校」は七月九日・十日の二日間、西山・落合地区で行われました。学校は、ふるさと暮らしを希望する人たちが、地域の決まりごとや農作業の仕方などを学ぼうと年四回行われる事業で、今回は約十五名が参加。五月に植えた田の草取りや集落のお母さんの手料理を味わうなど、地域の人の交流を深めていました。

7 NEWS

29チームが熱戦を展開
第60回健康づくり夏季球技大会



熱戦が繰り上げられた夏季球技大会

第六十回健康づくり夏季球技大会は七月三日、青少年広場な

ど四会場で行われました。大会にはソフトボール部門に十九チーム、バレーボール部門に十チームが参加。上位入賞を目指して熱戦を展開しました。成績は次のとおりです。

- ソフトボール▼青年の部：①西野②西山2005③サンライズ▼壮年の部：①ザ・中野②西山球友③ひがしの南④Bの部：①西野②青生野③戸草④シルバーの部：①西山バワース
- バレーボール▼家庭バレーボール：①青生野A②渡瀬A③青生野B▼九人制バレーボール：中野VBC②西山レディース③西野B

2 NEWS

“もしものとき”に備えて
村防犯協会が小・中学生に防犯ブザーを贈呈



防犯ブザーを受け取る各学年の児童代表（鮫川小）

村防犯協会（会長・大楽村長の防犯ブザー贈呈式は七月十四日、各小中学校で開かれました。防犯ブザーは、万が一犯罪に巻き込まれた場合に周りの人に知らせる身の安全を守るため、青生野小・鮫川小の全児童と鮫川中の女子生徒に贈られたものです。このうち鮫川小では、各学年の代表児童にブザーが贈られた後、鮫川駐在所の有我警部補がブザーの使い方を説明。児童たちは真剣に耳を傾けていました。

4 NEWS

やったぞ！鮫高野球部
第51回県総体軟式野球県大会で見事勝利



南東北大会に向けて練習に励む鮫高ナイン

県総体軟式野球県大会は七月十日、いわき市のいわきグリーンスタジアムで行われました。大会には、県立東白川農商高校鮫川分校野球部が出場。浪江高校津島分校を九対四で下し、あづま球場（福島市）で行われる南東北大会への切符を手に入れました。清水大翼主将（三年）は、「南東北大会では、ミスを失くして実力を出し切れるよう頑張りたい。まずは一勝です。」と力強い意気込みを話してくれました。

6 NEWS

見事な作品がズラリ
さつき・山野草展



見事な作品が会場いっぱい並んだ「さつき・山野草展」

盆栽愛好会と山野草研究会が主催する「さつき・山野草展」は六月二十日から二十二日までの三日間、村公民館大集会室で開かれました。会場には、会員が丹精込めて育てた色鮮やかなさつきや山野草が並び、訪れた人の心を和ませていました。なお、さつきの部で有賀岩男さん（大房）、山野草の部で岡部康嘉さん（前沼）の作品がそれぞれ村長賞に選ばれました。

8 NEWS

午後5時になりました！
夏休みの「声」は蛭田康暉君（鮫小6年）



放送室でマイクに向かう蛭田康暉君

「児童生徒の皆さん、午後五時になりました。交通事故に気を付けて、家に帰りましょう。」夏休み期間中の夕方五時に流れる防災無線の放送は毎年、小学生がアナウンサーを務めています。今年、夏休みの「声」を担当したのは鮫川小六年の蛭田康暉君（渡瀬字福原）です。七月十九日、役場放送室で録音を行った康暉君は「難しかったです。」と笑顔で話してくれました。

みんなのページは、みなさんが参加するページです。身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
TEL 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651
Eメールアドレス
soumu@vill.samegawa.fukushima.jp
総務課総務係
「広報さめがわ担当」まで

戸村 正明さん

Masaaki TOMURA

とむら・まさあき ●昭和年25年3月生まれ。富田字鎌木田在住。趣味は釣り(主にヤマメやイワナ)。村体育指導委員長。



村民 [随想] リレー ⑧5 やり遂げる

私は、現在村体育指導員の会長を務めており、指導委員としての役目および概要を紹介致します。

村体育指導委員は区が推薦し、村教育委員会から任命され、定数は十四名で構成され、任期は二年です。職務については県体育指導委員研究大会および東日川町村体育指導委員研修会などに参加して、二ユーススポーツのルールと実技を学び、村民のスポーツ活動促進のため村体育協会の事業に対して協力し、指導を行います。

現在行われているさわやか高原ロードレース、村民駅伝競走、インディアカ。特にインディアカ大会には、各地区でルールなどを学び、多くの選手たちが参加し、楽しく行われています。また、ふくしま駅伝大会には、皆様の御支援と御協力を賜り心から感謝を申し上げます。これからも指導委員が一丸となり、スポーツ活動がますます発展されますように指導と協力を続けていきます。

私は指導員を十八年間続けておりますが、題にあるように「やり遂げる」という事、与えられた仕事に興味を持ち楽しくなる事、そして趣味を持ち自分の心を癒す事が大切だと思います。

次は、我妻邦夫さん(西山宇落合)にバトンタッチ!

俳句

郭公や奥鮫川の谿深し 金沢 暁舟
つばくらめ一日局長拝命す 中井 恒峯
夏草を食む音絶えて畜舎古る 矢部 正子
百合の花咲くべく茎の太さかな 山本 朗史
山法師お喋り響く露天風呂 齋須 信子
岩しばの植え替え急かす梅雨晴間 小山田清哲
夕立を追い越し列車ふるさとへ 山本 恵子
六月一日女子高生のさわやかに 前田 縫子
陽性の梅雨に色踊つ四ひらかな 北條素人坂
節々の痛み発熱熱雨くもり 黒田 寿香
梅雨寒くも同僚の訃報来る 松本 精一
熱帯夜少年犯罪後絶たす 鈴木 米子
背伸びする孫と背くらへ山法師 鈴木 米子



葉月

雷慌てさす六月の暑さかな 小松ハル工
山本五十鈴
この儘で推移せしなばいずれ来る 老いゆく日本絶滅のとき 松本 一郎
真白な真綿のような雲の中抜けて 機体は伊丹に着けり 前田喜三子
子供らに留守を頼んで名古屋まで 夫と二人の初旅に出る 関根キヌ子
病む妻の足を揉みつつ己が身の行く先思えば何か淋しい 鷺野谷 満
娘より新茶が届く霜の朝夫に供えて共に戴く 田中 志乃
年毎に思考の力うすれ行く歌詠みながら思う此の頃 岡部 シゲ
支え合う結(ゆい)で賑わうあの田植え早苗振招ばれの遠き日を恋う 鈴木 クニ

短歌

句の味筈ことと茹であげて料理の味を夫と楽しむ 藤田千代子
村に住み七十年を夢見て気がつけば八十路と云う歳になる 赤坂 朝子
眠られぬ朝に起き出で覚めきらぬ目に写りしは山法師の花 北條 平
街に住む君訪ぬれば駅に待ち弾み駆け寄りし頃の懐かし 北條 平
佳作をと希いどついに生あれずして窓に遊べり小雀こがらと今日は故郷で歌った過去の草刈歌 忘れまいとすわが金字塔 坂本 雪絵
大人をいじむ先生と呼ぶるも一夜にて着のみ着の儘となる八十五日 蛭田 浩市
嫁の頃農も出来ず隣家の娘さんに教えられたる日が忘れ得ず 根本 恵智
われの述べ徳行一つ古いとし受け得ざる人の多くを知るも 前田 初
共に語り助け合いたる兄も逝きわれば一人の住びしがる日 須藤マツ子
教え子らそれぞれに成人の子を授けり成人証書謹みて書く 芳賀 常夫

新緑に映ゆる野地の湯ほのぼのと今宵の宴も人の和の中 森 芳子
携帯を持たぬ人があらぬというこの世は何と羨しきかな 大平 太平
地変天変竹に守られ古都の今緑さやかに風生みており 鈴木イミ子
石屋さん門前にして観音像馬にも乗れと立て札のあり 吉田 世津
ほととぎす青葉揺らせば葉たばこに忙しき日が目に迫り来る 関根 瑞恵
寝たきりの母に介護の日々にして訪い来る声の麗しき鳥 水野 珠子
大岩の根方に咲いた座禅草 隠す 齋藤 平四
娘に贈らるパジャマを着たる父の日の夫は見える満面の笑み 溝井 清乃
呆け防止の一つともいう歌作り今日は友として教室にゆく 鈴木 俊子
夏のように燃えろとも言う仕事して打ち込む時の己が心も 岡部 一
鯛の鳴く声しるしいつしかに忍び寄るかの秋の気配は 遠藤 秀

さめがわ 畑楽協力隊だより Vol. 4

緑のふるさと協力隊・飯塚ひろみさんの鮫川村体験記です。

田押し車から学ぶ「豊かさ」

7月上旬、田押し車を使って田の草取りを体験しました。もちろん初体験で、最初は長靴をはいて田んぼに入り、田押し車を押してみるものの、足はなかなか抜けないうえ、泥がたまって車輪もうまく進みません。裸足になって足腰に力が入ると、余分な力も抜けて少しリズムがつかめました。ゴロンと一押しすると同時に少し手前に引いて泥を跳ね飛ばし、また一歩前に進んでゴロン。二往復しただけで、暑さもありへとへとでした。

これを昔は一日中毎日行っていたと聞き、本当に頭が下がる思いです。田押し車が発明される前は、四つん這いになって手で草を取り、もっと大変だった事が簡単に想像できます。現在は、そういった光景を目にすることは少なくなりましたが、先日の苦労は忘れてはいけないと思います。そこから今の暮らしの豊かさ、幸福感、物のありがたみをより感じられるからです。そういう学びをこれからもしていきたいです。



田押し車での除草にチャレンジ!

情報の泉



募集

●奥の鮫川文芸クラブに参加してみませんか
奥の鮫川文芸クラブは、昭和19年、今は亡き先輩たちにより始められ、苦難の時代の星霜を経て続けられています。常に心に浮かんだ事、感じた事を文字にしてみませんか。素人の方も歓迎しま

す。文化祭歌会にも参加できるよう気楽に参加してください。歌会(句会)開催…毎月第1土曜日・午後1時/場所…早女川食堂/参加費…200円/運営…会長・関根一好、俳句会長・山本五十鈴、短歌会長・北條平、事務局、会計・斎須信子/詳細・問い合わせ…関根一好 ☎49-3575

●「17字のふれあい」作品募集
主催…福島県教育委員会/応募資格…大人と子どもがペアで応募/応募規定…子どもと大人が家庭生活や自然体験など共通の体験を通して感じたことを創作したものの/募集期間…9月30日(金)まで/応募用

紙…村教育委員会にあります/応募先・問い合わせ…〒960-8688福島市杉妻町2-16福島県教育庁社会教育グループ ☎024-521-7794

●「先生への手紙」作品募集
テーマ…「〇〇せんせいへ」「〇〇先生との思い出」など自由/応募資格…幼児から成人まで/応募期間…9月1日(木)まで/応募様式…おおむね400~800字程度。作品には、住所・氏名・連絡先・年齢・性別・学校名(職業名)を必ず明記/応募・問合せ先…〒960-8688福島市杉妻町2-16福島県教育庁社会教育グループ ☎024-521-7794

●海上保安大学校学生募集
受付期間…8月25日(木)~9月6日(火) ※9月6日消印有効/受験資格…昭和60年4月2日以降に生まれた者/採用予定人数…約45名/試験日…第1次試験10月29日(土)・30日(日)、第2次試験12月19日(月)/その他…郵便で申し込み用紙を請求する場合は、封筒の表に赤字で「海上請求」と書き、あて先明記の返信用封筒(角形2号・長さ33.5㍉、幅24.0㍉程度)に140円切手を貼り同封してください/詳細・問い合わせ…福島海上保安部管理課総務係 ☎971-81011いわき市小名浜字辰巳町38番地 ☎0246-53-7112

●テクノセミナー開催
セミナーコース③「第一種電気工事士実践知識」/内容…法規、電気に関する基礎知識、配線図、配電理論、電気応用など/定員…30名/実施予定日…9月13日(火)~15日(木)/受講時間…午前9時~午後4時/受講料など…7,300円/申込期限…8月30日(火)/詳細・問い合わせ…福島県立郡山高専技術専門学校(テクノカレッジ郡山)能力開発課 ☎024-944-1663 FAX024-943-7985 ホームページhttp://www.tck.ac.jp/

●県民カレッジ連携講座・会津大学公開講座案内
テーマ…電子自治体のシステム構築と管理/対象…一般60名/日時…8月25日(木)午後2時~午後3時30分/会場…会津大学講義棟大講義室/講師…会津大学・林隆史教授/参加費…無料/申し込み・問い合わせ…会津大学事務局企画予算グループ ☎0242-37-2510 Eメールcl-plandget@u-aizu.ac.jp

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで

Young Plaza

若い人が村外に出て行かないような対策を

「仕事はどんなことをしていますか？」
 浅川町の有限会社丸川製作所でワイヤーオペレーターをしています。金属加工の会社です。
 「仕事で心がけていることはありますか？」
 お客様に喜ばれるような製品を作るように心がけています。
 「休日はどんな風に過ごしていますか？」
 家の手伝いや子どもたちと遊んだりしていますね。
 「これからしてみたいことはなんですか？」
 村内に自分の家を作りたいですね。村について思うことは？」

若い人が村外に出て行かないように何か対策をとってほしいと思います。
 「村について望むことはありますか？」
 車の免許を持っていない人でも、服や食べ物などを気軽に買えるような店があれば、村外に出なくてもいいのではないかと思います。それと、何度も危ないと思ったことがあるので、国道349号バイパスと県道の交差点(運送前)に信号をつけてほしいですね。

次は井坂広徳さん(赤坂西野字見渡)の予定です。



すずき かつのり
鈴木 勝則さん (25歳)
 [赤坂東野字広畑在住]

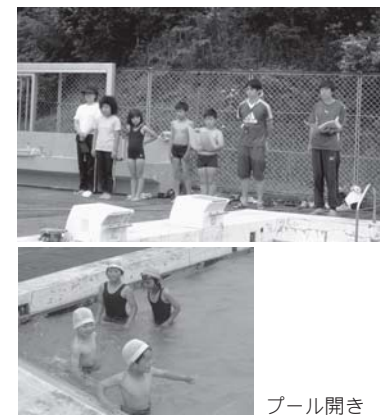
誕生月 昭和55年1月
 血液型 A型
 星座 みずがめ座
 趣味 酒を飲むこと、読書
 性格 おちゃめ

学校だより (第10回)

青生野小学校 編
 深谷 和子 校長
 生徒23名

プール開き

六月二十八日、子どもたちが楽しみにしていたプール開きが行われました。



プール開き

校長先生のお話やプールでの約束を聞いた後、準備運動をしっかりと行ってプールに入りました。少し肌寒い日でしたが、二十三人の子どもたちは、歓声をあげて初泳ぎを楽しんでいました。

ふれあい給食



ふれあい給食

七月八日、授業参観の日にあわせて親子一緒に給食を食べました。それだけでも子どもたちにとつてうれしいことだったのですが、その日はもうひとつ楽しみがありました。それは昨年度みんなで作った凍みもちを食べるからです。保護者の皆さんに油揚げたり、きなこ・砂糖じょうゆをつけたりして調理してもらい、全員でおいしくいただきました。

子どもたちもとてもおもしろいとおかわりをしていました。
 (文・写真/青生野小学校)

イベント情報

8月

鹿角平 宇宙のロマンとの出会い2005 ペルセウス座流星群を見よう!

主催/鮫川村・鮫川天文愛好会

野外でペルセウス座流星群や七夕の星を探そう(伝統的七夕=今年は8月11日)。天文台では、月や織姫のエンゲージリング(リング星雲)を見てみよう。



- とき 8月12日(金)・13日(土) 午後7時30分~
- ところ 鹿角平天文台(青生野地内)
- 参加費 無料
- 問い合わせ 村企画調整課 ☎0247-49-3115

ニジマス釣り天狗好楽会

主催/鮫川村水産資源保護協会

- とき 8月15日(月) 午前7時~午後3時
- ところ 赤坂東野字広畑地内・鮫川本流
- 料金 前売り券...一般3,000円、小学3年~中学生1,000円/当日券...前売り券の5割増し
- 問い合わせ 村水産資源保護協会事務局(村商工会内) ☎0247-49-2171

第27回

鮫川花火大会

主催/鮫川村商工会青年部

- とき 8月15日(月) 午後7時打ち上げ開始 ※荒天の場合は17日(水)に延期
- ところ 打ち上げ場所...国道349号鮫川バイパス・新宿トンネル付近/観覧場所...田中ニット(株)鮫川工場駐車場
- 問い合わせ 村商工会 ☎0247-49-2171



フロイエンベルグ・アンサンブル 夏の夜のコンサート2005

主催/鮫川村

「フロイエンベルグ・アンサンブル」は、村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」で毎年夏に合宿を行っているNHK交響楽団(N響)第一コンサート・マスター・山口裕之氏、元N響ヴィオラ首席奏者(現東京芸術大学助教授)・川崎和憲氏と両氏の門下生たち(東京芸術大学・桐朋学園大学などの学生、卒業して活躍中の演奏家)が鮫川村のために特別に編制した弦楽アンサンブルです。「鮫川村だけ」の室内楽の響きを、ぜひお楽しみください。



- とき 8月9日(火) 午後6時開場/午後6時30分開演
- ところ 村公民館 大集会室
- 入場料 無料
- 問い合わせ 村企画調整課 ☎0247-49-3115

人形劇こうえん

主催/福島大学児童文化研究会人形劇部
 後援/鮫川村教育委員会

- とき 8月11日(木) 午前9時30分~11時
- ところ 鮫川村公民館大集会室
- 内容 人形劇「仙人のおしえ」 そのほか、たくさん遊びもするよ。
- 入場料 無料
- 問い合わせ 村公民館 ☎0247-49-2247

奥の里山 in 遠ヶ竜 魚つり・つかみどり大会

主催/遠ヶ竜若衆会

- とき 8月15日(月) 午前10時~正午
- ところ 遠ヶ竜ふれあい公園(赤坂東野字遠ヶ竜地内)
- 料金 大人1,500円、中学生以下500円
- 問い合わせ 遠ヶ竜若衆会会長 森元良 ☎0247-49-2161



年金

国民年金保険料の
免除申請手続きはお早めに

平成17年度国民年金保険料の納付書は国（社会保険庁）から届いてきますか？

国民年金保険料を失業や収入が少ないなどの理由で納めるのが困難な人のために「保険料免除制度」があります。保険料が未納になっていると、老齢基礎年金が少なくなるなど年金受給の際に「免除」と「未納」では大きな違いがありますので、保険料を未納のままにしないことが大切です。

免除には「全額免除」と「半額免除」があります。免除を受けた期間の将来の年金額は、通常納めた場合に比べ、全額免除では3分の1、半額免除では3分の2に減額されます。ただし、半額免除は残りの半額を納付しないと未納扱いになってしまいますので注意が必要です。

また、免除を受けた過去の期間の保険料は、10年前までさかのぼって納めることができます。手続きに必要なもの

▼印鑑▼保険料の納付書など基礎年金番号のわかるもの▼今年1月以降に転入された方は所得がわかるもの（源泉徴収票が確定申告書の写し）▼失業を理由とするときは雇用保険受給資格者の写し雇用保険被保険者離職票の写し
全額・半額免除の基準
申請者本人と申請者の配偶者、世帯主の前年所得により審査されます。（下表のとおり）

●免除となる所得（収入）の目安
※夫が妻のいずれかのみ所得（収入）がある世帯の場合。数字は所得（収入）

世帯員数	全額免除	半額免除
4人（夫婦、子2人 [子の1人は16歳以上23歳未満]）	162万円 (258万円)	282万円 (420万円)
2人（夫婦のみ）	92万円 (157万円)	195万円 (304万円)
単身	57万円 (122万円)	141万円 (227万円)

その期間の保険料が猶予されます。

■問い合わせ 村住民福祉課住民係
☎49-3112

主催 村教育委員会、村青少年健全育成推進協議会、村PTA連絡協議会、村小中学校長会
対象 園児・児童・生徒の保護者、一般村民
内容 小中学校の子どもの現状と課題・成人向け話し合い学習
日程 左表のとおり

地区	日時	会場
赤坂中野	8月1日(月) 午後7時～9時	村公民館
渡瀬	8月3日(水) 午後7時～9時	渡瀬区集落センター
富田	8月5日(金) 午後7時～9時	富田区集落センター
東石	8月8日(月) 午後7時～9時	東石区集落センター

※赤坂西野、西山、青生野地区は7月下旬に実施しています。

■問い合わせ 村教育委員会教育課
☎49-3151

◆お知らせ1

米穀取扱事業者は「登録制」から「届出制」へ

これまで米穀を販売、集荷する方は県、農政事務所に登録していましたが、平成16年4月に施行された改正食糧法では届出制となり、農政事務所に届出が必要となりました。

米穀取扱事業者とは、1年間(4月～3月)において、20精米ト以上(くず米なども含む)の米穀の出荷または販売事業を行う方です。
■詳細・問い合わせ 福島農政事務所地域第4課 ☎0248-22-1241

鮫川村街頭犯罪発生状況
棚倉警察署 (☎33-3241)

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	0	1
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	0
事務所荒らし	0	0
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	1
無施錠	0	0
ガラス破り	0	1
鍵穴破壊	0	0
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	1	1
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	1	3

発生件数：6月25日～7月25日
累計：1月1日～7月25日

●夏の行楽シーズンは心も緩んできます。日ごろから油断しないように心に鍵をかけ、防犯意識を高く持ちましょう。

◆お知らせ2

個人事業税納期のお知らせ

個人事業税は、個人で事業を行っている方に課税される税金です。福島県県南地方振興局県税部から送付される納税通知書により、最寄りの金融機関で8月31日(水)までに納めてください。なお、金融機関の預金口座から振替納税する方法もあります。希望される方は、納税通知書に同封してある口座振替依頼書に必要事項を記入し金融機関に申し込んでください。(今回申し込まれた方は、第2期分からの振替となります。)

■問い合わせ 福島県県南地方振興局県税部 ☎0248-23-1517

「2005夏のふくしまUターン・学生等就職フェア」開催

日時 8月17日(水) 午後0時30分～午後4時
場所 ビックパレットふくしま展示ホールC (郡山市)
参加対象者 Uターン希望者・来春卒業予定の学生など(高校生は除く)、県内に採用予定のある事業所
■問い合わせ 福島労働局職業安

定課 ☎024-528-0366

家出人・行方不明者相談所開設
～あきらめずもう一度捜してみませんか～

8月1日から31日までの1カ月間、県内各警察署に「家出人・行方不明者」を捜す相談所を開設します。棚倉警察署では、刑事生活安全課で相談に応じていますのでご利用ください。
■問い合わせ 棚倉警察署 ☎33-3241

精神障害者家族教室開催

精神の障害者を持つ方の家族を対象に勉強会を行います。一緒に悩み、考えることによって、こころの荷をおろしませんか。
日時 8月24日(水) 午後1時30分～午後3時30分
場所 生活支援センターこころん(泉崎村)
内容 講話「当事者の立場から～家族と本人の相互支援からみえてくるもの～」/講師・広田和子氏
申し込み期限 8月22日(月)
■問い合わせ 福島県南保健福祉事務所障がい者支援チーム ☎0248-22-5649

◆いきいき健康通信

文/村住民福祉課健康係 中川西ミユキ栄養士

暑い日が続いています。体も疲れやすく、食欲も減退する時期になりました。夏、を元気にのりきるために自分の生活をもう一度振り返ってみましょう。

■「夏バテ」が起きる原因や症状

- ①高温多湿のため不快に感じる→体が疲れる。寝苦しくて睡眠不足になる。
- ②体温調節のため、発汗量が多くなる。→エネルギーを消耗し、体が疲れる。
- ③胃酸の分泌が低下する。→胃酸の消化力が低下し、食欲不振になる。
- ④冷房のあたりすぎ→体温調節を行う自律神経が機能低下する。

■「夏バテ」を吹き飛ばす「元気の源」

「夏バテ」が起きる原因が分かったら、今度はならないための「元気の源」を知りましょう。「これは1つでも欠けてしまうと元気が出なくなってしまいます。食事 体を動かすのに絶対に欠かせないもの。特に1日の始まりの朝食は必ず食べましょう。

運動 1日1回は外で体を動かしましょう。適度な疲れは食欲を起し、熟睡にもつながります。

休息 仕事や運動の途中や後には、必ず体を休めましょう。疲れがたまりすぎると、食欲がなくなります。

睡眠 起きる時間、寝る時間が毎日違つと、体の中のリズムも狂つて、体調を崩してしまいます。

■「夏」こそ見直したい食生活

- ①1日3食しっかり食べよう
- ②夏はたくさん汗と一緒に体の中のビタミンB1、B2、Cが流れ出てしまつて体内の消費量が高まり、不足しやすくなります。ビタミンB1、B2を多く含む豚肉やうなぎ、枝豆などのた

夏はたくさん汗と一緒に体の中のビタミンB1、B2、Cが流れ出てしまつて体内の消費量が高まり、不足しやすくなります。ビタミンB1、B2を多く含む豚肉やうなぎ、枝豆などのた

■「夏バテ」解消のおすすめメニュー

栄養のあるものをバランスよく食べて暑い夏をのりきりましょう。

■鶏ささみとかぼちゃのじま和え

材料(2人分)

鶏ささみ…2本
パセリ…適量
ポン酢…大さじ1
塩・酒…適量

作り方

- ①鶏ささみは観音開きにして塩、酒を軽くふる。かぼちゃは厚さ5ミリに並べ、薄く焼き色がつかまで焼く。
- ②鶏ささみを細く裂き、かぼちゃと合わせて調味料で和える。最後にササ切りにしたパセリを散らす。

●お誕生おめでとうございます

(6月届け出分・敬称略)



くまだ はやと
熊田 隼斗・男
平17.6.5生
住所…虹ヶ沢
保護者…孝男・博子

●おくやみ申し上げます

(6月届け出分・敬称略)

住所氏名	月日	年齢
東前田 市村 サエ	6.12	90歳
大平 関根 キン	6.21	93歳
石ノ花 舟木 忠男	6.23	76歳
福原 芳賀 利弘	6.26	53歳

●人の動き 7/1現在・()は前月比

人口	4,534人(-5)
男	2,255人(-2)
女	2,279人(-3)
世帯	1,121戸(+1)

●寄付・寄贈 (6・7月受理分・敬称略)

- 社会福祉事業のために[金員]…市村春二(東前田) 関根清(大平) 舟木郁子(仙台市) 芳賀真一(福原) 山本幸治(神奈川県)
- さざり荘に[物品]…藤田芳美(岡田)
- 奨学資金として(故人の遺志による)[金員]…山本ヤス(道少田)

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■この編集後記を書いていた頃、ようやく夏らしい天気になりました。夏休みに入ってからずっと雨が続いていたので、子どもたちにとってはこれから夏休み"本番"でしょう。暑い日が続くと思いますが、水の事故や熱中症はもちろんのこと、防犯ブザーの使うことのないように気をつけてほしいですね。(緑川)

●TOPICS



いきいき大学で健康づくり

村内で各地区ごとに実施されている健康づくり事業「ふれあい広場」の西山地区「第1回いきいき大学」は6月22日、西山集落センターで開かれ、同地区のお年寄り約30名が参加。エアロビクスインストラクターの青柳夏実さんが講話と実技指導を行い、参加者は楽しみながら身体を動かしていました。(写真提供:水野茂男さん/宝木)

8 生活情報カレンダー 月1日～9月10日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
	8/1 ●図書館休館日 ●村税等納期限 ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]
7 ◎藤田医院(棚倉町) ☎33-2013 金沢医院(矢祭町) ☎46-2312 中島病院(石川町) ☎26-3415	8 ●4カ月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～/埴厚生病院 ●図書館休館日 ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]
14 ◎あらまちクリニック(棚倉町) ☎33-8018 木村医院(矢祭町) ☎46-3528 富永医院(浅川町) ☎36-2027	15 ●図書館休館日 ●第27回鮫川花火大会…19:00～21:00 ●ニジマス釣り天狗好楽会…7:00～15:00 ●魚つり・つかみどり大会…10:00～/遠ヶ竜ふれあい公園
21 ◎おおひら整形外科クリニック(棚倉町) ☎33-9468 埴厚生病院(埴町) ☎43-1145 中島病院(石川町) ☎26-3415	22 ●図書館休館日
28 ◎杉山胃腸科外科皮膚科(棚倉町) ☎33-7551 車田病院(埴町) ☎43-1019 おりの整形外科クリニック(石川町) ☎26-5050	29 ●図書館休館日
4 ◎和田医院(棚倉町) ☎33-2012 中島医院(埴町) ☎43-0373 中島病院(石川町) ☎26-3415 ●第16回村民ゴルフ大会	5 ●図書館休館日 ●住民健診・口腔健診…7:30～[保]

◎=休日当番医

Book



赤ちゃんと読む絵本 聞かせ0・1・2歳 (徳永満里著・フォーラムA)
絵本との出会い=ブックスタートは生後7カ月頃からがよいと筆者は語っています。では、赤ちゃんが一番喜ぶ絵本とは…。赤ちゃんの成長に合わせて本を紹介している1冊です。「子どもが楽しむ読み聞かせ3・4・5歳」もありますのでどうぞ!!



夏のなぜなにブック (久米公、世界文化社) すいかにはたねがいくつあるの?朝顔はどうして朝しか咲かないの?子どもたちの「なぜ」「どうして」「知りたい!」という好奇心に写真やイラストで分かりやすく答える夏の不思議ガイドブックです。

図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鮫川村図書館 ☎29-1150

火	水	木	金	土
2 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●ポリオ生ワクチン投与…13:30～[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	3 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	4 ●リハビリ教室…10:00～15:00[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	5 ●健康大学…18:00～20:30[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	6 ●第19回村民ふれあいグランドゴルフ大会…14:00～青少年広場
9 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公] ●フロイエンベルグ・アンサンブル「夏の夜のコンサート」…18:00～[公]	10 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	11 ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公] ●福島大学人形劇こうえん…9:30～11:00[公]	12 ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公] ●ベルセウス座流星群を見よう!…19:30～/鹿角平天文台	13 ●ベルセウス座流星群を見よう!…19:30～/鹿角平天文台
16	17 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	18 ●子宮がん検診・骨粗しょう症検診…①8:30～9:00 ②13:00～13:30[保]	19 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●農業委員会総会	20 ●チャレンジスクール第4講座
23 ●社会復帰支援事業(やまぶきの会)…10:00～15:00[保]	24 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	25 ●10カ月児健診…10:00～[保] ●各小中学校、幼稚園第2学期始業式	26 ●健康大学…18:00～20:00[保] ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	27
30	31 ●住民健診…7:30～/[ほ]体験館(青生野地区) ●村税等納期限 ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	9/1 ●住民健診…7:30～/渡瀬区集落センター	2 ●住民健診・口腔健診…7:30～[保](富田地区) ●健康大学…19:00～20:00[保]	3
6 ●住民健診…7:30～[保]	7 ●住民健診・口腔健診…7:30～[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	8 ●住民健診…7:30～/西山区集落センター	9 ●住民健診…7:30～/赤坂西野区民センター	10

[公]=公民館 [保]=保健センター [図]=図書館 [トレセン]=農業者トレーニングセンター [ほ]=ほっとはうす・さめがわ [こ]=こどもセンター

鮫の昔話

第八話

手打ちと半殺し

(文・切り絵 中井恒峯)

むかしむかしの話です。村のどこの家にも「富山の薬」というのが置いてありました。それで年に一度か二度、富山から薬売りがやって来て、薬の補充と集金に家々を回って歩いていました。

その富山の薬売りが渡瀬を巡っていたときのことです。大きな薬箱を荷台につけて坂道を上っていたら、急に雨が降ってきて雨宿りしているうちに日が暮れ、夜になってしまいました。

「これは大変、いつも泊まる宿屋まで行けないな。」と、困り果て歩いていていると、一軒の農家の灯りが見えてきました。この農家を訪ねると、人の良さそうなおじいさんとおばあさんが出てきました。薬売りの太郎は、「一晩泊めてください。」と頼むと、「はい。泊めてあげま

すよ。」

と色よい返事が返ってきました。太郎はその夜泊めてもらうことにしました。薬売りの太郎は、農家の奥の部屋に案内されて、ほっと一息つき休んでいました。

すると、となりの部屋から話し声が聞こえてきました。「じいさん、じいさん。久しぶりのお客様だ。今夜はどうしましょう。」

「そうだな、今夜は久しぶりのお客様だ、手打ちにするか、半殺しにするか。」

「いや、半殺しにしよう。」と、何やら相談しているようです。それを聞いた薬売りの太郎はびっくりしました。

「これまた大変だ。殺されるかもしれない。こうしてはいられない。とんでもないところに泊まってしまった。」そう思いな

がら青くなり、ぶるぶる震えていました。「そのときは、そのときだ。」と覚悟を決め、部屋で休んでいました。

すると、部屋の戸がガラツと開いて、「夕食の準備ができました。こちらに来てください。」と、おばあさんがにやっと笑いながら顔を出し、太郎を呼びよせました。太郎は恐る恐るおばあさんの後をついていきました。囲炉裏につくと、とてもいい匂いがしました。そこには「ほたち」と「そば」が用意してありました。太郎はおじいさんとおばあさんに言われるとおりにして、夕食をこちそうになりました。

次の日、何事

もなくおじいさんとおばあさんの家を出た太郎は、となりの集落に行つて夕べの出来事を村人に尋ねてみました。村人の話によると、「手打ち

は「手打ちそば」や「手打ちうどん」のことで、農家で来客をもてなすために打つたものです。また、「半殺し」は、「ほたちち(春は牡丹もち)」「やおはぎもち(秋は萩もち)」のことで、ご飯を半分つぶすので、そのように言つたそうです。太郎が勘違いしたおじいさんとおばあさんの話は、ほたちち(牡丹もち)をこちそうするか、そばかうどんの手打ちをこちそうするか相談していたということだったのです。

(福島史談会長・広畑出身)

※この話は、筆者が村を訪ねた際に民話などを採話したものです。

